

第233回 番組審議会

1. 日 時 平成26年6月10日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 10名(欠席委員数 1名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)
竹中 陽一(副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
木戸場 美代子
久慈 浩介
菅原 正二
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者(7名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)
小原 忍 (専務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
藤原 銀司 (取締役営業局長)
工藤 浩 (取締役総務局長)
菊地 十郎 (岩手めんこいテレビ報道部専任部長)
藤堂 光隆 (岩手めんこいテレビ報道部主任)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 演 題 『FNSドキュメンタリー大賞

ようこそ！槌音が響く丘へ ～被災女将 笑顔が戻るその日まで～』

平成26年5月24日（土）13：00～13：55

5. 議 事 概 要

今回は5月24日（土）放送の『FNSドキュメンタリー大賞 ようこそ！槌音が響く丘へ～被災女将 笑顔が戻るその日まで～』を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 菊地プロデューサーからの説明

・番組の主人公、人首（ひとかべ）ますよさんが女将をつとめる陸前高田市の海鮮料理店「ひとかべ」を震災前日2011年3月10日にめんこいテレビが取材をしていた。

・震災で店、自宅を失った人首さんは、その後、陸前高田市に再建されるホテルの支配人に抜擢された。番組では震災前日からホテルがオープンするまでの人首さんの日々を追った。

・震災の影響や復興の進捗などはあえて割愛し人首さんの笑顔を前面に出して番組を仕上げた。

●岩手めんこいテレビ 藤堂ディレクターからの説明

・被災者である人首さんが3年間でどのように変わっていくのか、映像と音を通して、周りの人々も含めて伝えたかった。

・ナレーションは神戸出身の俳優堀内正美さんに担当してもらった。堀内さんは阪神大震災で被災者し東日本大震災後は「希望の灯り」という活動で陸前高田市にも何度か訪れていた。被災者に寄り添う形のナレーションになったと思う。

●出席した委員からの意見

- ・ 奇跡的とも言える震災前の映像と震災後の映像があり、とても印象に残った。
- ・ いろいろ盛り込みたい項目を整理し「人の物語」に絞ったことが良かった。
- ・ 人首さんが3年間でどのように変わっていくのか注目していた。多くの葛藤があった日々から、表情が生き生きしてくる様をうまく捕らえ画面に落とし込んでいた。
- ・ 喜寿のお祝いのシーンは、被災地に人々が集う場所がいかに大切かを感じさせられた。
- ・ ホテルのオープン当日、人首さんが涙をこらえながら運転しているシーンがこの番組の全てを物語っていて感動した。
- ・ ナレーターの堀内さんのエピソードを最初に紹介した方が聞く方も入りやすかったのではないか。
- ・ 人首さんが語る部分をもっと整理した方が良かった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成26年6月11日（水） 産経新聞 東北版

※平成26年6月21日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ
番審りポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし